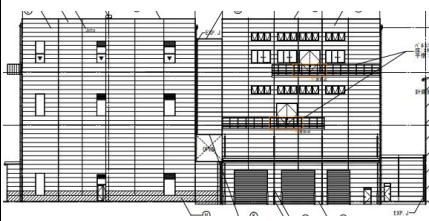


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	城東テック(株)本社 組立・倉庫棟増築	階数	地上3F
建設地	大阪府枚方市招提田近2丁目	構造	S造
用途地域	工業専用地域、市街化区域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年2月15日
敷地面積	12,036 m ²	作成者	大和ハウス工業(株) 永井 正裕
建築面積	1,149 m ²	確認日	2019年2月15日
延床面積	3,211 m ²	確認者	大和ハウス工業(株) 永井 正裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
敷地の中にできる限り緑地を行い、生物資源の保護を目指している		LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑えるように配慮している
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特に無し	外装仕上げ材の補修必要間隔: 30年以上	敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特に無し	断熱材=グラスウール10k t50	LCCO ₂ 排出率=66%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0153

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	城東テクノ株式会社本社工場 組立・倉庫棟増築工事					
		建設地	大阪府枚方市招提田近2丁目					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B-		
①	CO2削減				4			
②	みどり・ヒート アイランド対策				2			
③	建物の断熱性				評価対象外			
④	エネルギー削減				5			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.3	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								